



輝かしい
明日へ羽ばたく

大江中学校の卒業式が、3月16日におこなわれました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して時間を短縮した式となりましたが、70人の卒業生一人ひとりが清野均校長から卒業証書を受け取り、晴れ晴れとした表情で母校を巣立っていきました。

令和2年度 所信表明

新発想で
切り開く未来

令和2年

4

No.710

新発想で 切り開く未来

大江町長
松田 清隆

令和2年度の予算などを審議する町議会第1回定例会が、3月12日から23日までの会期で開かれました。就任後初めての議会に臨み、本格的な町政のかじ取りのスタートを切った松田町長。記録的な少雪、新型コロナウイルス感染症の広がりなど例年にない状況が続く中、新年度の町政運営に関する所信を述べました。

今年の冬はこれまでにない暖冬となり、積雪がない日が非常に多く、日常生活を送るうえでは暮らしやすい冬となりました。しかし、スキー場や除雪などのように、雪があるが故の活動が少なかったことなどを考えれば、一長一短があったことも事実です。また、これから迎える春や夏に向け、水不足による農作物への影響をはじめ心配されることも数多く予想されます。私たちの経験だけでは推し量ることができない気象環境になりつつありますが、みんなで力を合わせ安心して暮らせる町づくりを進めていきます。

中国に端を発する新型コロナウイルス感染症の流行が全世界的な広がりを見せており、日本国内においても日々増加する感染者数、マスクや消毒液の不足などが社会問題化し、小中学校が一斉休校となったほか、多くの人が集まる行事などが中止や延期になるなど、私たちの身近なところで、いっような形で発生するのか予想ができません。本町においても、感染拡大の恐れに加え、経済面の影響も懸念されており、国や県と連携し適切に対処するよう努めていきます。

全国的に人口減少が進む中、本町も例外ではなく人口減少が続いています。15年前の平成17年の国勢調査では、9915人と初めて1万人を下回り、現在は住民基本台帳によれば8千人をわずかに下回る人口となっています。その中でも今年度1年間に生まれた子供の数が30人を切るが見込まれており、出生者がいかに確保するかが大きな課題となっています。このことは人口確保対策のみならず保育園、幼稚園、小・中学校の今後の在り方や町の将来を考えるにあたり非常に大きな要素となってきます。人口確保対策としてこれまで取り組んできた住宅



団地造成分譲や町営住宅整備などに加え、定住対策として子育てや教育に対する経済的支援や環境づくりを進めていきたいと考えています。

本町は昨年60周年の還暦の年を迎えましたが、次の60年先を考える時に、今の若い世代の方が未来に向けてどんな町の在り方を望み描いているのがキーポイントとなります。さらに町民の約半数が女性であることからすれば、女性目線の声をもっと町づくりに生かす必要がありますし、若い世代の声を町づくりのアイデアに反映できる機会を増やすことが必要です。また、高齢者の皆さんにとって、生きがいを持って健康で元気に暮らせることが安心な生活には必要不可欠です。そのためには、地域の方々からの協力を得ながら、関係機関と連携しみんなで支え合える体制づくりと併せて、健康づくりや医療確保対策に、これまでの施策

をベースとしながらも新たな発想で取り組まなければなりません。

町内の農林業、商工業における共通の課題として、担い手や後継者不足が挙げられます。社会や生活スタイルが多岐になり、求められる価値観も多様化している昨今、チャンスは目の前に転がっているかもしれませんが。若い世代の知恵とエネルギーが新たな事業展開や事業拡大につながることを期待し、チャレンジ&トライができる環境をつくっていきます。また、町内の温泉施設、道の駅、朝日連峰などの観光施設を活用した「交流人口」の拡大に加え、本町に思いを寄せてくださっている方々との「関係人口」の創出につなげていきたいものです。

人は、一人ひとりがそれぞれの「夢」を持っており、その実現に向けて皆さんが頑張っています。町づくりについても、町民それぞれが思い描く理想や思いがあ

るはずで。個人の夢、家族の夢、仕事の夢、仲間の夢など、いつも心のどこかにそれぞれの夢を持って生きているのではないでしょう。町づくりも同様です。町民の皆さんの共通する夢をより多く実現するためには、町民の皆さんと夢を共有し一緒に考え行動することが必要です。みんなの知恵を出し合い支え合えば、この町に住んでよかった、住んでみたいと思える町づくりができるはずです。町民の皆さんがそれぞれの「幸せを感じられる町」にするために、一緒に「夢を共有できるまちづくり」を目指していきます。

なお、令和2年度当初予算につきましては、予算編成の時期が町長選挙と重なったことから、暫定的な予算となつていきます。新たな取り組みや政策的な事業については、今後補正予算として編成していきたいと考えています。

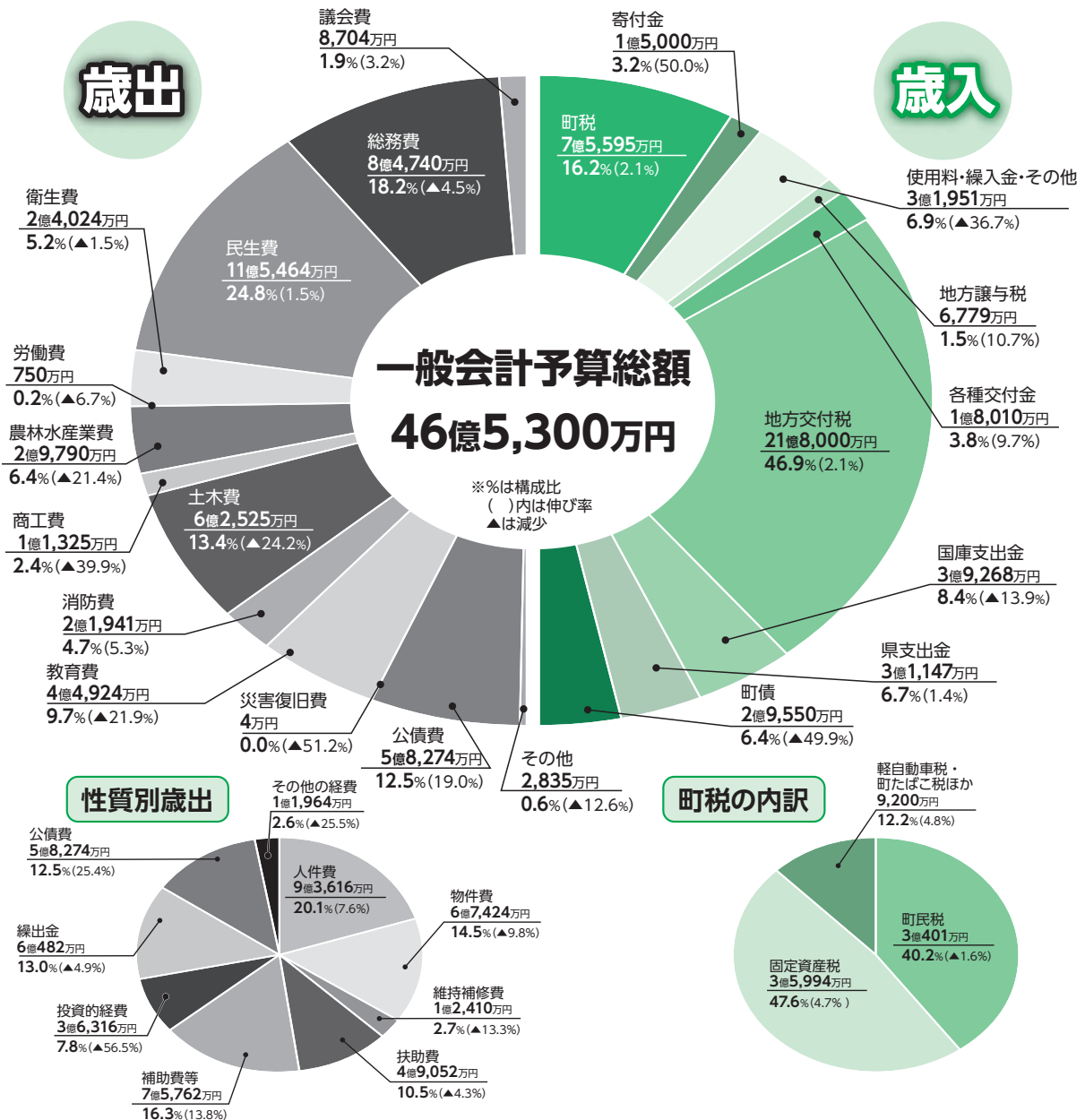
令和2年度 一般会計当初予算

46億5,300万円

令和2年度当初予算が、3月の町議会定例会で可決されました。一般会計の総額は46億5,300万円で、前年度当初予算額と比較すると8.0%の減となりました。

これは、任期満了に伴う町長選挙が予定されていたため、新規事業等を除いた予算を編成したもので、今後補正予算により計上することとなっています。

特別会計を含む各会計の予算概要を紹介します。(予算は千円単位ですが、四捨五入により万円単位としています)



◆特別会計・事業会計

	歳入		歳出			歳入		歳出	
国民健康保険	保険税	1億2,101万円	保険給付費	5億5,672万円	公共下水道事業	使用料・手数料	5,480万円	施設費	5,556万円
	国県支出金	5億6,379万円	国保事業費納付金	2億577万円		国庫支出金	1,233万円	下水道建設費	3,548万円
	繰入金	1億2,112万円	総務費	3,150万円		繰入金	1億7,561万円	公債費	1億7,053万円
	繰越金	600万円	保健事業費	1,132万円		町債	1,610万円	総務費	243万円
	その他	158万円	その他	819万円		その他	566万円	予備費	50万円
	合計	8億1,350万円	合計	8億1,350万円	合計	2億6,450万円	合計	2億6,450万円	
後期高齢者医療	保険料	7,628万円	広域連合納付金	1億516万円	農業集落排水事業	使用料・手数料	610万円	施設費	2,125万円
	繰入金	3,009万円	総務費	122万円		国庫支出金	400万円	公債費	2,122万円
	その他	63万円	諸支出金・予備費	62万円		繰入金	3,999万円	総務費	713万円
	合計	1億700万円	合計	1億700万円		その他	1万円	予備費	50万円
	合計	1億700万円	合計	1億700万円	合計	5,010万円	合計	5,010万円	
介護保険	保険料	2億1,010万円	保険給付費	10億9,524万円	水道事業	営業収益	2億2,783万円	営業費用	2億2,956万円
	国県支出金	4億5,211万円	地域支援事業費	4,587万円		営業外収益	1,627万円	その他	1,454万円
	支払基金交付金	3億138万円	総務費	2,834万円		合計	2億4,410万円	合計	2億4,410万円
	繰入金	2億318万円	その他	55万円		企業債	5,500万円	建設改良費	8,658万円
	その他	323万円	合計	11億7,000万円		負担金	260万円	企業債償還金・予備費	4,031万円
	合計	11億7,000万円	合計	11億7,000万円	合計	5,760万円	合計	1億2,689万円	
宅地造成事業	財産収入	1,994万円	宅地造成費	1,950万円					
	その他	6万円	予備費	50万円					
	合計	2,000万円	合計	2,000万円					

★用	★富	★月	★小	★藤	★蛭	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	木	
／	／	／	／	／	／	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	の	
齋	柏	伊	伊	鈴	秋	香	柏	土	安	松	山	小	菊	鴨	清	鴨	鴨	沢		
藤	倉	藤	藤	木	場	澤	倉	屋	藤	田	家	國	地	田	野	田	田	芳		
勝	孝	利	俊	俊	勝	清	敏	光	栄	津	重	松	謹	洋	孝	秀	德	昭		
彦	一	美	春	雄	彦	勉	弘	雄	一	吉	之	信	一郎	悦	太郎	康	康	昭		
所	原	葛	★	梨	上	望	山	★	美	諏	★	★	★	★	★	★	★	★	深	
部	／	／	滝	木	北	山	崎	下	郷	訪	堂	荻	下	市	若	み	小	伏	深	
／	／	／	の	原	山	山	／	モ	／	原	屋	野	北	の	原	な	漆	熊	沢	
松	佐	佐	沢	原	山	山	佐	七	／	／	敷	／	山	／	／	み	川	／	沢	
田	藤	藤	／	清	林	小	藤	原	佐	大	／	最	木	横	荒	／	池	佐	菊	
	友	准	渡	野	林	林	木	竹	竹	場	柏	上	村	山	木	工	田	竹	地	
	正	一	辺	野	林	林	昭	富	富	敏	倉	一	茂	幸	秀	秀	義	正	美	
	弘	勉	野	野	林	林	三	士	士	男	雄	裕	美	吉	二	孝	勝	勝	津	
	正	一	野	野	林	林	郎	夫	夫	男	雄	一	美	吉	彦	孝	勝	勝	雄	
★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★
…	田	柳	道	中	沢	小	黒	貫	月	檜	十	小	橋	材	★	★	★	★	★	
新任	ノ	川	海	沢	口	清	森	見	布	山	八	新	上	久	三	顔	塩	野	平	
区	沢	平	／	／	／	／	／	／	／	／	才	／	／	保	合	好	野	平	／	
長	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	渡	田	鈴	平	／	渡	
(笠	富	鈴	庄	大	佐	松	松	阿	安	才	結	柏	伊	田	木	野	平	渡	
敬	原	樫	木	司	沼	竹	田	田	部	藤	城	倉	藤	邊	昭	昭	平	邊	昭	
称	英	一	一	幸	清	大	豊	健	喜	義	正	滿	正	精	一	一	昭	昭	昭	
略)	司	男	男	一	人	大	吉	一	一	文	清	二	信	一	郎	郎	昭	昭	昭	
	哲	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	

今年度の 区長さんです

令和2年度の区長が決まりました。4月6日に中央公民館で委嘱状交付式がおこなわれ、同席上で4人の区長に永年勤続感謝状が贈呈されました。

今後1年間、各区の代表者として地域と行政をつなぐ重要な掛け橋となっていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

令和2年度 永年勤続感謝状

- ◆10年勤続
庄司 幸一（中沢口）
- ◆5年勤続
木村 茂美（下北山）
佐竹富士夫（美郷）
松田 正（所部）

新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

この冬感染が拡大した新型コロナウイルス感染症は、現在も世界各地で猛威を振るっており、国内においても各地で感染者が急増しています。感染拡大防止のため大規模なイベントが相次いで中止となり、今年予定されていた東京オリンピックも開催延期が決定するなど多方面に影響がおよんでいます。

本県においては3月31日に初の感染者が確認され、吉村知事は県民へ向けて、少なくとも2週間は県内でも感染者数が増加する可能性が高いとして、当面の間不要不急の県外への移動を控えるよう求めました。また、県立図書館や県郷土館（文翔館）など不特定多数の方が利用する公の施設について、当面の間休館とすることをしました。

本町では、3月2日に設置した新型コロナウイルス感染症対策本部（本部長・松田町長）において、町内の状況および国や県の措置を踏まえながら町の対応方針を定めています。4月2日に開催した対策本部会議では、町主催行事については、当面の間は中止や延期、または開催が必要なものについては対応方針に基づき感染予防対応をしたうえでおこなうこととしました。

町内の各学校の卒業式については、いずれも規模を縮小して開催されました。3月3日におこなわれた左沢高校卒業式は、卒業生と教職員のみが出席。16日の大江中学校卒業式は、来賓を招待せず内容も例年より簡略化したものとなりました。18日の左沢小学校、本郷東小学校卒業式も、在校生が出席しない形でおこなわれています。

※掲載している内容は4月2日時点のものです。



▲3月19日に開かれた、新型コロナウイルス感染症対策本部会議の様相

◎町新型コロナウイルス感染症対策本部の対応方針

- ①町民の感染予防の措置
- ②行政機関などの社会機能の維持
- ③町主催行事について、不特定多数の者が参加する行事などは、以下の「クラスター発生リスクを下げる3条件」を満たさない場合には、当面の間開催を中止または延期する。なお、高齢者及び慢性疾患で治療中の方などに対して、新型コロナウイルスの感染防止と重症化予防の観点から、マスク着用などにより感染予防策をしっかりとって参加いただくか、または安全を見て自主的に参加を控えていただくよう周知する。
 - (1)適切な換気ができる
 - (2)人を密集させない(お互いの距離を1~2メートル程度あける)
 - (3)近距離での会話や発声をさけることができる
- ④他団体に対して不要不急のイベントなどの自粛を呼び掛け
- ⑤新型コロナウイルス感染症に関する情報収集
- ⑥感染症の予防と対策に関する情報提供
- ⑦町内経済状況などの情報収集

議会より経済対策要望書提出

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、経済環境が急激に悪化し町内経済の冷え込みが深刻な状況になっているとして、町議会では3月18日に「大江町緊急経済対策本部設置に関する要望書」を町に対して提出しました。

町緊急経済対策本部に求める内容は「町内経済、雇用などの情報収集の強化」「経済環境の悪化に伴う企業などへの支援」「町民生活などの安定に必要な対策」「経済対策に関する関係部署間の緊密な連携」「その他経済環境の安定に必要な対策」となっています。



▲「町緊急経済対策本部設置に関する要望書」を松田町長に手渡す菊地議長と関野副議長



▲3月12日、除菌水とハンドソープを松田町長へ手渡した西村山建設業協会理事の高子建設(株)の高子公雄代表取締役



▲3月23日、マスクを松田町長へ手渡した(有)後藤ニット縫製の後藤忠志社長

西村山建設業協会より除菌水など贈呈

寒河江西村山地域の建設会社などで構成する一般社団法人西村山建設業協会(國井仁会長)と同青年部(佐藤信悟部長)から、町内の学童施設に対して消毒用の除菌水などが贈られることになり、3月12日に贈呈式がおこなわれました。

同協会では、寒河江西村山地域1市4町の学童施設へウイルス対策製品を贈呈しており、本町の学童施設については一施設につき500mlの除菌水25回分一式と、2ℓのハンドソープ2個が贈られました。

後藤ニット縫製より布製マスク贈呈

ニット製品を製造している有限会社後藤ニット縫製(後藤忠志社長)より、この春町内の小学校に入学する新1年生のために、3月23日に布製マスクを贈呈していただきました。このたび贈呈していただいたのは、洗って繰り返し使える布製マスク70枚で、新入生全員に行き渡る枚数です。

後藤さんは、「こういう大変な状況なので、私たちで何か手助けできないかと考えました。マスクがなくて困っている子どもたちに、ぜひ使っていただきたいです」と話していました。

新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします

◎感染予防の基本「手洗い」「咳エチケット」



帰宅時や調理の前後、食事前など、こまめに手を洗いましょう。石けんで指先や指の間、手の甲、手首までしっかりと洗い、十分に水で流して、清潔なタオルなどでよく拭き取ることが大切です。



咳やくしゃみを手でおさえると、その手で触れたものを介して感染が広がります。マスクを着用するか、咳やくしゃみが出そうなときはハンカチ・ティッシュや袖で口・鼻を覆いましょう。

◎3つの「密」を避けましょう

新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。下記の3つの条件がそろった場所ではクラスター発生のリスクが高まりますので、イベントや集会で3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。

- ①換気の悪い「密閉空間」
- ②多数が集まる「密集場所」
- ③間近で会話をする「密接場面」

◎3つの条件のほか、共同で使うものには消毒などもおこないましょう

町の相談窓口
健康福祉課保健衛生係
0237-62-2114

※町では施設の利用制限、町県民税申告期限延長、町税・上下水道料金などの相談対応をしております。最新の情報は町のホームページでご確認ください。

地域おこし協力隊新隊員着任

今年度の本町の地域おこし協力隊員として、新たに太田さや香さんが着任することになり、4月1日に松田町長から辞令が手渡されました。太田さんは神奈川県出身で、まちなか交流館A T E R Aを拠点に町おこしの活動に取り組む予定です。

また、これまで本町の地域おこし協力隊員として活動してきた村中亮竜さん、須藤和さん、岸政宗さんが、3月末をもって退任することになりました。3人とも引き続き町内に居住し、村中さんは集落支援員として、須藤さんは町職員として、今後もまちづくりに携わっていくこととなります。



▲「自分の経験をいかして町のにぎわいづくりをしていきたい」と意気込みを語ってくれました

私は平成29年4月から地域おこし協力隊として活動し、今年の3月で任期が満了します。4月以降も別の形でやまさあべに関わりながら貫見に住んでいきたいと考えています。お世話になった恩を少しずつでも返して「村中が来てくれて良かったな」と思ってもらえるよう一生懸命がんばりますので、これからもどうかご指導の程よろしく願いいたします。

令和元年度で退任した 地域おこし協力隊員より



村中 亮竜 さん



岸 政宗 さん

3月末日をもちまして、地域おこし協力隊を退任します。4月からは、これまで同様に柳川平地区に住み、町内の企業に勤めることになりました。

これも大江町に来てから、公私ともども、たくさんの町内の方々を支えていただいて、子どもたちも含め山里に楽しく暮らせるようにしていただいたおかげだと思います。これからもよろしく願いいたします。

地域の安全・安心のために活用

山形県防犯協会連合会から町防犯協会へ「青色防犯回転灯付防犯パトロール車」が譲渡されることになり、3月17日に役場庁舎前で贈呈式がおこなわれました。この車両は銀色と青色に塗装された軽乗用車で、全国防犯協会連合会が日本宝くじ協会からの助成を受けて県防犯協会へ配備したものです。

町では12月からこの車両を活用しており、今後も安全・安心なまちづくりの実現のため、町内巡回などに利用していきます。



「おいで、おおえ」やまがた公益大賞受賞

SNSや動画を通じて町の魅力発信をおこなっている団体「おいで、おおえ」が、「2019年やまがた公益大賞」を受賞しました。この賞は、県民の公益活動を活性化するため地域課題の解決に取り組む公益活動を顕彰するもので、今回の受賞は、他団体と連携した幅広い活動などが評価されたことによるものです。

「おいで、おおえ」では、今後もオリジナルブランド制作などさまざまな形で地域活性化のための活動をしていくことにしています。



議会

town council

3月定例会

令和2年第1回大江町議会定例会では、令和2年度当初予算や令和元年度の各会計の補正予算のほか、人事案件、条例制定・改正案などについて審議がおこなわれ、原案どおり承認・可決されました。その内容の一部を紹介します。

人事案件

人権擁護委員の任期満了に伴い、次期委員として現任の堀永敏氏（富沢）を再度推薦することについて同意されました。任期は、7月1日からの3年間となります。

条例制定

大江町森林環境譲与税金条例の制定について

森林環境譲与税は、間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発などの森林整備・促進に関する費用にあてるため、令和元年度から各市町村に交付されています。その原資となる森林環境税は、令和6年度から税率年額千円で個人住民税と併せて賦課徴収されることとなります。

法令で定められた使途どおり確実に執行するとともに、その実績を明確にするため、基金を設置し、事業の執行と財源の管理をおこなうため、本条例が制定されました。

専決処分

令和元年度大江町民ふれあい会館ホール空調設備改修工事請負契約について、2階客席部分の工事におけ



る天井の一部解体および足場組立作業などに要する費用として106万9200円を増額し、契約額を6706万9200円とする専決処分をおこなったことが報告されました。

補正予算

令和元年度一般会計予算について、歳入歳出の総額にそれぞれ1億1310万円を追加し、補正後の予算総額は54億660万円となりました。

令和2年度 新規採用職員を紹介します

建設水道課
阿部 海（若原）

町の発展のために尽力し、地域住民に愛される町にしていきたいと思っています。大江町のためにがんばっていきます。

健康福祉課
須藤 和（9区）

これまでお世話になった地域の皆さんに恩返しできるよう、精一杯努めていきたいです。よろしくお願いいたします。

長い間お疲れ様でした

佐竹 宗弘（総務課）
村上 恵子（健康福祉課）
酒井 優子（健康福祉課）



※3月31日付で退職された方々です。

お知らせ

Information

春季消防演習の中止について

4月26日(日)に実施を予定していた今年度の大江町消防団春季消防演習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止することになりました。

なお、春季火災予防運動に伴い、4月16日(木)から22日(水)にかけて、7時および20時に防災行政無線によるサイレン吹鳴がおこなわれます。

☎総務課危機管理係 ☎(62)2187
または、消防署大江分署

☎(62)3120

受けてください 命を守る大切な「けんしん」

心臓病・脳卒中・動脈硬化などを防ぐには、健診などの機会での状態を確認することが大切です。また、胃がん・肺がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がんは、早期発見で生存率が大きく高まるとされています。

令和2年度の町の健康診査も6月18日(木)から始まります。問診票な

どを順次申込者へ郵送しますので、次の点にご注意いただきながら、ぜひ健診を受けてください。

◆推奨される受診間隔／◎胃がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診：2年に1回、◎肺がん検診・大腸がん検診：年1回

※町では2年に1回という制限はなく、毎年受けることもできます。

◆健診時間／健診内容が少ない方で30分、多い方でも3時間以内に終了

◆健診場所／総合健診センター（寒河江市大字寒河江字久保）

☎(84)0800

※「人間ドック」には「レディース健診」の検診内容が全て含まれているため、健康診査家族調査票兼申込書で両方に申し込んだ方には「人間ドック」の問診票を送付します。

※受診日の変更、新規申込はいつでも受け付けています。ただし、1回の受診者数に上限があるため別の日に変更していただく場合もあります。

☎健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

令和2年度

高齢者等通院支援給付費について

75歳以上の高齢者または身体障害者手帳1級・2級保持者で、運転免

福祉タクシー券・給油券を給付します

心身障害者の積極的な社会参加と生活圏拡大のため、心身障害者が利用するタクシー料金の一部と自家用車の給油費の一部を助成します。申請は年間を通して受け付けています。

◆対象者／所得税非課税世帯に属し、次のいずれかに該当する方 ①身体障害者手帳所持者で視覚、下肢、体幹および内部障害（心臓、腎臓、呼吸器など）の1級から4級までの方、②療育手帳所持者、③精神障害者保健福祉手帳所持者、④自動車税の減免を受けている方（※福祉給油券の場合のみ）



◆福祉タクシー券／1カ月あたり650円券×3枚
◆福祉給油券／1カ月あたり1950円

※申請月によって、支給枚数が異なります。また、タクシー券と給油券の重複申請はできません。

◆申請方法／健康福祉課窓口到手帳、印鑑、および給油券を申請する場合は「自動車税減免決定通知書」を持参の上申請

☎健康福祉課福祉係 ☎(62)2285

許証を持たず、家族による通院の支援が受けられない方を対象に助成します。なお、他の通院支援を受けている方は対象外となります。

◆助成内容／①山交バス路線の大江町内（左沢駅）～寒河江駅までの区間、②「大江町高齢者等通院支援給付券」1回2000円の上限48回分

（1年分）の給付券を交付、③利用者は、バス利用の降車時、後期高齢者医療被保険者証または身体障害者手帳を提示し、運賃表示機に示された運賃から給付券（2000円）を差し引いた金額と「大江町高齢者等通

院支援給付券」を運賃箱に入れて降車してください。

◆申請に必要な書類／①大江町高齢者等通院支援給付事業申請書（※健康福祉課保健衛生係にあり）、②後期高齢者医療被保険者証または身体障害者手帳の写し、③印鑑

☎健康福祉課保健衛生係

☎(62)2114

不登校・引きこもり入門講座を開催します

クローバーの会@やまがたでは、子どもや若者たち、その家族の居場



各種施設などの使用料の免除について

地方創生の実現に向け、町民の皆さんにまちづくりに関わる取り組みを積極的におこなっていただくために、平成28年から町の公民館や体育施設、交流施設などについて、一定の要件を満たす場合に使用料を免除することとしてきました。

使用料免除の期間は3月末で終了予定でしたが、地方創生については今後も引き続き推進していくため、免除の対象期間を令和7年3月31日までの5年間延長することになりました。今後も活発なまちづくり活動のため、各施設などをぜひご活用ください。



▲ふれあい会館内部改修工事に伴い、ホールのカーペットも新しくなりました

◆使用料免除対象施設

- ◎中央公民館
- ◎ふれあい会館
- ◎特別豪雪地帯克雪管理センター
- ◎歴史民俗資料館
- ◎学校施設
- ◎社会体育施設
- ◎健康増進センター
- ◎交流ステーション
- ◎小倉交流館

◆使用料免除の要件

町内に住所を有する概ね5人以上の方で構成する団体が利用する場合

※ただし、飲酒を伴う使用、私用・営利目的使用の場合は免除対象外となります。

※詳細については、各施設管理者までお問い合わせください。



表紙のリニューアル、新しい定期コーナーの創設など、いつかやりたいと思っていた果たせなかつたことも多くあります。1ページまるごと

この5年間、町内のさまざまな場所に足を運び、たくさんの方々とお話をする機会を頂きました。自分の足で現地に行き、自分の目で見、自分の耳で話を聞くことで得られるものの価値は、本当にかげがえのないものと実感しています。

5年。改めて書くという長い時間ですが、本当にあつという間に過ぎたような気がします。このたびの人事異動で、広報担当を離れることになりました。今号が実質的に私が手掛ける最後の広報紙になったわけですが、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどのイベントが中止となり、淋しい中身になってしまった感否めません。

今年度より広報を担当させていただきましたことになりました。町の動きをわかりやすく、かつ、正確にお伝えすることを心がけて紙面を作成していきたいと考えております。私も前任者同様に、現地に行き、自分の目で見て、聞いたことをお伝えしていけるようにがんばります。町民の皆さまには、取材で様々なお願いをさせていただくことになると思いますが、ご協力をお願いいたします。

(今野清彦)

と編集後記」という野望も、露と消えました。次の担当に託したいと思えます。これまで広報誌編集にご協力くださった皆さん、そして毎月読んでくださった皆さん、本当にありがとうございます。これからも「広報おえ」への変わらぬご愛顧を、どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤智治)

◆会場／中央公民館
◆講師／滝口克典氏（「よりみち文庫」共同代表）
◆内容／「不登校」や「ひきこもり」とどうつきあっていくか？
※参加料無料、申込不要です。
問 クローバーの会@やまがた
023(664)2275

◆日時／4月22日(水)
◆時間／19時～21時

MADE メイドイン IN おおえ

匠の技から最先端技術まで——モノづくりを担う町内企業と、
そこで働く若い力をご紹介します。



す が わ VOL.3 須川工業株式会社 山形工場

- ◆住所 大江町大字藤田503-8
- ◆代表者名 代表取締役社長 須川正興
- ◆沿革 大正6年 創業
平成7年 藤田工業団地に山形工場建設
- ◆従業員数 45人
- ◆主な業務 自動車用ブレーキ部品、エンジン・ミッション関係部品、車体部品、鉄道車両用部品などの製造

須川工業株式会社山形工場は、プレス加工を専門としています。私たちにとって身近な自動車や鉄道車両の部品が、この工場の一つひとつ製造されています。「現在は生産管理システムを用いて、より綿密な進捗管理をおこなっています」と話す、工場長の笹原さん。高い品質を保ちながら、生産効率の向上も図っています。

入社12年目の白田さんは、プレス機のアペレーターを担当。「アイデアがあれば、誰とでも気軽に言い合えるのが良いですね」と、コミュニケーションの取りやすさを職場の特長に挙げていました。

現在は6人の実習生を海外から受け入れています。インドネシア出身のファウジさんは「皆さんのおかげで、日本にもだいぶ慣れました。これからもがんばりたいです」と意気込みを語っていました。



▲主な製品(上:自動車用ブレーキ部品、下:高い精度で直角に加工された断面)



▲工場長の笹原建一郎さん(中央)と、入社12年目の白田久登さん(左)、研修生のファウジさん(右)

戸籍のまど

2月21日～3月20日大江町受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
みなみ	公平 采花 ^{ことは}	女	智之・裕美

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
(美郷)	佐藤 成嘉
(寒河江市)	柴田 美華
(5区)	廣野 太基
(市の沢)	横山 美香
(6区)	安藤 大輔
(山形市)	佐藤 志保

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	駒林 ちゑ	(95)
6区	長瀬 純	(38)
9区	公平 マキ	(83)
9区	松田かつ子	(89)
13区	村上 徳一	(64)
藤田	土屋 久枝	(42)
6区	鈴木マサエ	(96)
月が丘	金山トシ子	(83)
9区	庄司トミエ	(97)
藤田	安藤 秀子	(89)
藤田	柏倉 清壽	(85)



人口と世帯(前月比)

町の人口	7,951人(-18)
男	3,963人(-8)
女	3,988人(-10)
世帯数	2,883戸(-5)

令和2年4月1日現在

※掲載を希望しない場合は、
届け出の際にお申し出ください。